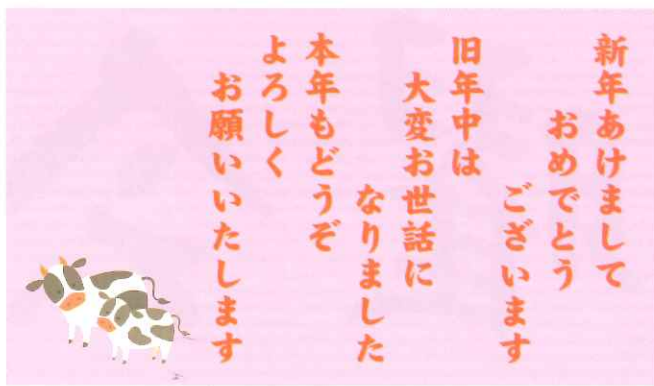




新年度歳入は、新型コロナウイルスの影響など

### 令和3年度 予算編成方針



# 早川よしゆき 市政報告

## 第53号

により市税が過去最大規模の減少幅となり、厳しい財政環境になることが見込まれます。持続可能な財政の維持・構築に向けて「行政事務のスマート化」「既存財産の活用」「民間活力の活用などによる公共サービスの再構築」の3つの視点から総合的な財源確保に取り組むこととしています。

歳出では障害福祉サービス事業費などの扶助費の増加、抜本的な浸水対策、小中学校の耐震化、ごみ処理施設の建設など、本市が直面する課題の解決や、更なる成長の基盤づくりのための取り組みも不可欠であるとしています。

その財源不足は40億円を超える見通しで、財政調整基金を繰り入れる予定です。

### コロナの現況と 対策について

福山市においては全国で過去最大の患者発生となっている状況を踏まえ、11月19日に対策本部会議を開催し、12月4日には職場においてクラスターが発生するなど、感染の更なる拡大が懸念されたことから同日、地区医師会、感染症指定医療機関、二次救急病院、初期救急医療機関で構成する「福山市新型コロナウイルス感染症に係る専門会議」を開催しました。福山市においてもこのまま感染者が増加すれば医療崩壊の一手前であるとの危機感が示されました。

皆様におかれましては、三密の回避、マスクの着用、ソーシャルディスタンス・うがい・手洗いの徹底の上に、体調不良時の対応、集会への参加の注意事項を守り、感染拡大地域との往来を控える等、基本に返り、一人ひとりが感染防止対策に万全を尽くしてください。



### 地域活性化 会議とは

市長は車座トークに代わり、新しく地域活性化会議に取り組んでいくことにし、現場主義をさらに徹底するため、この度市政モニター（意見を述べる人）制度を創設しました。幅広い世代の様々な立場の方々の意見を市政運営等に反映していくもので、初回は大きく2つの柱を考えています。

一つ目は「(仮称)福山みらい創造ビジョン」の素案に対する御意見と、二つ目は市政全般についての期待や改善点などの御意見です。また、競馬場跡地未来創造ゾーンの暫定利用についても伺いたいと考えています。特に重要な課題については地域活性化会議で制作の形に練り上げ、年2回開催する予定の会議について、春頃開催予定の会議で市民の意見、地域課題を集約し、秋頃開催予定の会議で課題解決の方策を議論し、次年度予算要求に反映することです。

### 地元の課題

旧加茂診療所解体後は、(仮)加茂交流館が建設される予定です。



解体が進む旧加茂診療所 R2.12.撮影



工事が進む国信橋 R2.12.撮影

広島県の設計変更の指摘を受け、延期になった国信橋と枝国橋、今年中の完成をめざしています。



工事が進む枝国橋 R2.12.撮影

早川佳行の  
主な役職  
67才

福山市議会議員  
七期目  
民生福祉委員会委員  
地方創生調査特別委員会委員  
他

発行者  
福山市議会 水曜会  
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901  
電話 (084)972-3195  
事務所 福山市加茂町上加茂 265  
電話 (084)972-8999  
FAX (084)972-2093



# 水曜会

第53号

令和3(2021)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会  
 住所 〒720-8501  
 福山市東桜町3番5号  
 電話 084-928-1123  
 FAX 084-920-1104



## 十二月定例市議会

本会議は十一月三十日開会。新型コロナウイルスの追加対策などを盛り込んだ一般会計補正予算案など45議案や、人事院勧告に準じて職員や市長など特別職、議員の期末手当を引き下げる条例改正案2議案を賛成多数で可決しました。

新型コロナウイルス感染症対策分として総額6億8962万円を可決



福山市議会 水曜会の面々

追加の新型コロナウイルス対策として、三密回避に向けたキャッシュレス決済の導入など行政のデジタル化推進の為に電子計算処理費や、システム開発費のほか、公共施設の感染拡大防止策と合わせ、庁舎や文化施設のトイレの洋式化も引き続き進めます。

その他、介護施設の衛生環境整備に対する補助金や、子ども食堂等の衛生対策などの支援費、収益の悪化が著しい路線バス事業者に対する運行維持に向けた支援費などで

### 12月補正予算額

一般会計	46億9,085万円
特別会計	1,163万円
企業会計	△1億0,429万円
全会計合計	45億9,819万円

### 12月一般会計補正予算 (主な事業)

#### 新型コロナウイルス感染症対策分

##### 一般会計

##### ○市単独事業

地方バス路線運行維持対策費補助	1億8,300万円
小中学校建設費	1億7,600万円
本庁舎施設維持整備費	6,100万円
社会教育施設整備費	5,400万円
電子計算処理費	4,520万円
支所庁舎等施設維持整備費	4,180万円
電子計算システム開発費	400万円
民生委員調査活動費	354万円
公民館整備費	340万円
コミュニティセンター施設整備費	230万円

##### ○国県補助事業

特別養護老人ホームなどの補助金	5億9,129万円
病院事業会計	
国・県補助金	4,950万円



コロナ対策以外では、小中学校の外壁改修やエフピコRiMの再生に向けた実施設計費などです。また、福山北産業団地造成については、令和三年度から五年度にかけて

総額49億4000万円で事業実施することが承認されました。

ひとり親家庭に再度臨時特別給付金を支給する事業案を可決

新型コロナウイルス感染症の影響で、低所得者のひとり親世帯に本年七月から臨時特別給付金を支給していますが、その実態が依然厳しい状況にあることから、再度、同様の基本給付を行う為の事業案です。

支給額は、1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円の加算です。

### 賛成討論

この度の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策分と制度上必要とする通常分などであり、感染者が拡大している中、市民生活の安心安全に寄与するものであり、早期の執行を求め賛成しました。

一般質問に水曜会から7人が登壇  
 枝廣市長を質す

十二月議会の一般質問者は、左記の通りです。

○熊谷寿人

新年度の予算編成方針について

○連石武則

市営斎場の運営状況について

○石口智志

有害鳥獣対策について

○喜田紘平

公共施設のネット予約とスマートロックシステムの導入は

○羽田俊介

市営競馬場跡地の活用について

○木村素子

子ども・子育て支援体制について

○石田 実

高齢者の運転免許証の自主返納支援について

詳細は、二月一日発行の「福山市議会だより」に掲載されます。